

島根県立大学
国際関係学部 国際関係学科
国際関係コース

令和8年度（2026年度）
一般選抜（前期日程）

小論文

【試験時間 90分】

以下の注意事項をよく読んで指示に従うようにしてください。
指示に従わない場合は、不正行為と見なしますので、注意してください。

1. 解答開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。許可なくこの問題冊子を開いた場合は、不正行為と見なします。
2. 試験時間は90分です。
3. 試験問題は、1ページから5ページにあります。解答開始の合図があった後、問題冊子を確認し、印刷不鮮明な箇所等があった場合は、直ちに申し出てください。
4. 解答用紙は2枚あり、問題冊子とは別になっています。解答は指定された解答用紙の解答欄に横書きで記入してください。
5. 受験番号、氏名は2枚の解答用紙の所定欄すべてに記入してください。
6. 問題冊子の余白を下書きに利用しても構いません。
7. 解答時間中の退出はできません。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問題 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。なお、文章中の（注1）～（注4）は出題者が付したもので、文章の後にまとめて記載してある。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

(出典 益田肇「人びとが織りなす社会戦争—あの戦争の戦争画を読む」『世界』岩波書店、第1000号(2025年12月)、100-101, 103, 110, 112-114頁。なお、出題にあたって、文章の一部、見出し、図及び注を省略したところがある。)

(注1) ジェンダー……社会的・文化的に作り上げられ意味付けられる性別のあり方。

(注2) 引締め時代……著者によれば、一九三一年九月の満州事変後に、非常時の名のもとに個性や多様性など一体感を損なうとみなされる事柄への反対を唱えた草の根保守運動が展開された時代を指す。

(注3) 解放の時代……筆者によれば、一九一〇年代末から三〇年頃の大正時代から昭和初期にかけて、旧来の「らしさ」からの解放や、伝統の破壊や価値体系の崩壊が見られた時代を指す。

(注4) 銃後……戦場の前線に対する、その後方にある国内の一般国民や地域生活。

問いは次のページにあります。

- 問1 下線部（A）について、戦争画の鑑賞の仕方は、国家戦争を軸に置いた見方と社会戦争を軸に置いた見方とではどのように異なるのか、それぞれの「戦争」の意味合いの違いに触れつつ、文章中の表現を用いて300字以内で説明しなさい。
- 問2 下線部（B）について、「総力戦下の日本で起こっていた」という「そうした傾向」とは何か、文章中の表現を用いて150字で説明しなさい。
- 問3 下線部（B）について、「今日の私たちの生活と必ずしも無関係なものとは言えない」のはなぜか。「今日の私たちの生活」の具体的な内容を明らかにしながら、これまで主体的に学んできた知識や、高等学校における地理歴史科や公民科での学習と関連付けて、あなたの考えを550字以上600字以内で論じなさい。

(以下余白)